

医療安全情報 レポート

Vol.19

働くみんなの医療安全

意外と知られていない 経皮吸収貼付剤（以下「貼付剤」）使用時の注意について。

【電気メス（手術・内視鏡等）使用時やMRI検査時には貼付剤を外していますか？】

貼付剤は、皮膚から薬剤を吸収させ、血液循環により全身に作用させる目的で使用する薬剤です。現在使用されている主な貼付剤には、「血管拡張薬」「気管支喘息治療薬」「局所麻酔薬」「癌性疼痛用麻薬」「ホルモン剤」「禁煙補助薬」などがあります。

右のような利点から、使用している患者さんも多いのではないのでしょうか。

ニトロダームやニコチネル、ニュープロパッチ、などは貼付剤の支持体にアルミニウムが使われています。

MRI 検査時に除去することは、今や当たり前に行っているのではないのでしょうか。しかし、電気メスなどのジアテルミー（高周波療法）を行う時には貼付部位に火傷を引き起こす恐れがあります。このことは**あまり**知られていないようですので注意しましょう。

■ 貼付薬の利点

1. 肝臓での分解・代謝を受けにくい
2. 貼付により薬効が持続する
3. 除去することで与薬を中断できる
4. 経口摂取できない患者にも投与できる
5. 消化管に負担がかからない
6. 食事の影響を受けない

電氣的除細動、ジアテルミー（高周波療法）、MRI 検査を行う時は、必ず事前に貼付剤を除去しましょう。
※医師の指示と薬剤師に確認のこと！

貼付剤によっては添加物や印字に金属を含むものもあります。

